

# なぜなに? やま・もり

## 山や森についてもっと知ろう!

### 下層植生は縁の下の力持ち?

森林の地表には下層植生と呼ばれる草や低木が生えています。下層植生は地面を覆うことで土砂の流出を防ぎ、昆虫など動物の住処にもなっています。また下層植生と林木の間には密接な関係があります。

**1** 森林の地表にはさまざまな下層植生が生えています。



**3** そのままでは、下層植生が枯れてしまい、雨で土砂が流出しやすくなり、動物も住みにくくなります。



**2** スギなどの人工林では、木を間引かずに放置すると枝が重なり合い、地表まで光が届きにくくなります。



**4** 混み合った森林の木を間引く(間伐といいます)で地表に光が届き、下層植生がのびのび成長できます。また残った木も伐られた木があったスペースに枝を伸ばせるため、丈夫に育ちます。



森林の整備は下層植生や動物を守るうえでも重要です。

※山形県では「やまがた緑環境税」を活用して、手入れの遅れた森林を整備しています。

## 企業だって 森づくり♪

### 絆の森 編



○あの「伊藤園」はすまね? はい。「日本のお茶 おくいお茶」でおなじみの、あの伊藤園です。場所は西川町。その名も「おくいお茶の森」での育樹活動を、県民の皆さまと行っております。



【伊藤園】山形支店 支店長 小松 寛さん

○活動を始めるきっかけがあったのですか? 「お茶で山形を美しく。」と題して、弊社の「おくいお茶」ブランド全飲料製品の売り上げの一部を、山形県の「やまがた百名山」環境保全事業に寄付しております。それだけでなく、もっと地域密着の活動をしたくない、「絆の森」を始めました。

○社員の皆さんと地域のの方々協働の活動なんですか? 森づくり活動は初めての社員



大鎌で下刈り作業中!

また、西川町の魅力を広めていくことも重要です。個人的には山菜たっぷりの「月山山菜そば」が好きです。そばを食べた後の鉄鍋に「はつと」を入れる食べ方にも驚きました!

○担当者の苦労は? 森づくりにには保育作業が大切だということに改めて認識しました。伊藤園は、茶農家と協力して「おくいお茶」の原料と

が多く、西川町の地域の皆さまに助けられております。この活動は、社員の学びの場でもあります。活動場所の下流域には弊社ドリンク製品の委託製造工場があります。水づくりは「森づくり」から始まります。活動を通じて、社員の自社製品への愛着を育んでいます。



月山メノウ磨き体験

なるお茶の葉を茶畑から育てているのですが、朝夕では成り得ないという点で森と似ています。原料である樹木の生育環境を整えることの重要性について、茶畑と一緒に広く伝えていければと感じております。

○社員の皆さまの感想は? 活動は体力勝負で、筋肉が悲鳴を上げます!でも、日常生活では使ったことがない大鎌や、長い高枝切りバサミなどを使うのは楽しいです。また、自然と匠の伝承館では「月山メノウ磨き体験」や「おいしいお茶のいれ方セミナー」も行いました(※対面セミナーは自粛中)。



おいしいお茶のいれ方セミナー

○今後の抱負をお聞かせください。 実際の活動場所である西川町を知っていただき、社員や関係者だけでなく、県民の皆さまと森を育む場になるようにしていくのが大きな抱負でもあります。ご賛同いただける方は、ぜひご連絡いただけると幸いです。

この森づくり活動を通じ、地域に密着した取り組みを推進することで、企業の社会的責任を果たせるように取り組んでまいります。

一連の活動を通じて社員心の成長につながることを期待しております。

★やまがた絆の森づくり推進事業★  
企業などと森林所有者と県との三者協定による森づくり活動。  
令和3年4月末現在、35企業・団体、33箇所まで活動を展開中。

読者プレゼント  
抽選で(株)伊藤園から提供の「おくいお茶 緑茶」525ml×24本を5名様にプレゼント。